

ITU-T FG-IPTV 会合の日本招請について

IPTV 合同ワーキンググループ

1. FG-IPTV 会合及び日本招請について

ITU-T では、動画像を IP ベースで送受信する技術（いわゆる IPTV）への関心の高まりを受け、平成 18 年 7 月に IPTV Focus Group (FG-IPTV) を設立。ITU 内外の専門家の参加を得て、IPTV の定義、構成、要求条件など IPTV の標準化を推進中。

我が国はインターネット映像配信、デジタル放送などデジタル映像配信については先進国であり、我が国が有する先端技術の国際競争力の向上を図ることが一層重要。そこで、日本の提案が審議結果に反映されるようにするとともに、我が国の先進事例を国際的にアピールするため、FG-IPTV の第 6 回会合を日本に招請することが適当である。

2. 開催場所

京王プラザホテル (予定)

3. 開催期日及び規模

2007 年 10 月 15 日 (月) ～19 日 (金) (予定)

参加者は 200 名程度 (内、外国人 140 名程度) を想定

4. 会合ホスト

総務省及び FG-IPTV 会合招致・実行委員会

5. 実施体制

民間企業有志により日本 ITU 協会を事務局として「FG-IPTV 会合招致・実行委員会」が設置され、FG-IPTV 会合の日本開催に係る具体的な諸準備作業を進めている。

(参考)

FG 会合で合意された IPTV の定義

「IPTV は、要求される QoS/QoE、セキュリティ、双方向性、信頼性を提供できる管理された IP 網上で提供される TV、画像、音声、データ等のマルチメディアサービス」

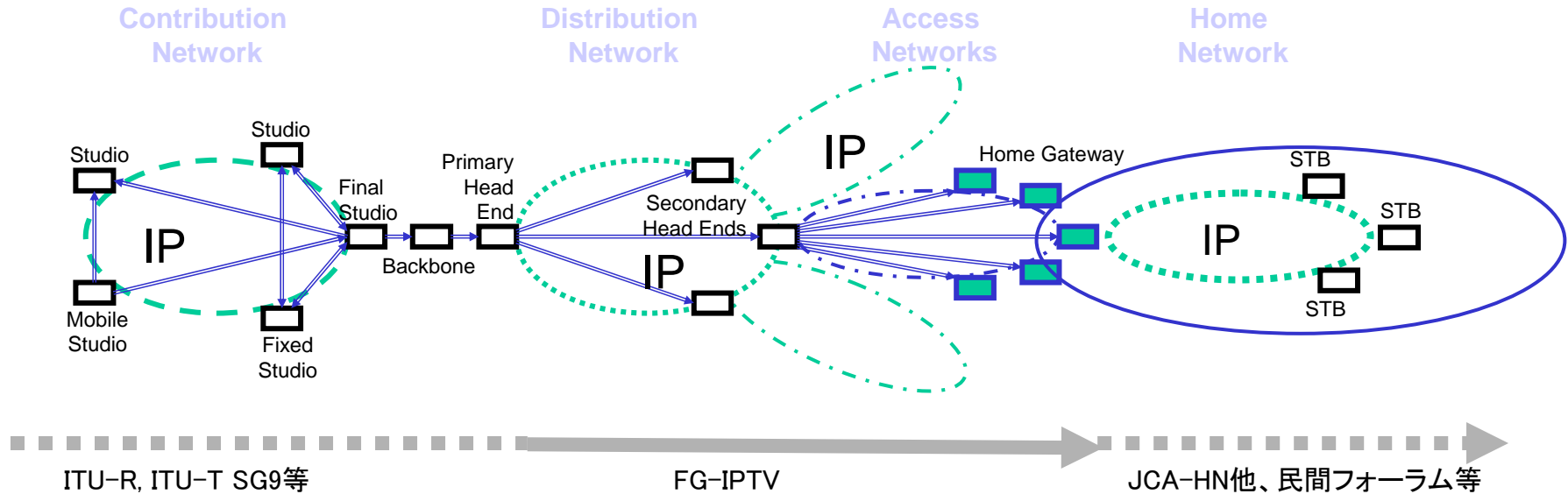
FG-IPTV での検討状況

- ・これまで 4 回開催 (別紙)。本年末まで残り 3 回開催予定。
- ・IPTV の構成については、ネットワークが NGN かどうかなど 3 つのケースに分類し、並行して検討中。
- ・一般的な通信の品質に加え、体感品質：QoE の考え方を導入。評価項目について引き続き精査が重要。
- ・欧米諸国とともに日中韓 3 ヶ国が積極的に参加しており、提案及び出席者の約半数を占めている。

これまでのFG会合の概要

<p>第1回</p>	<p>日程:2006年7月10日(月)~14日(金) 場所:ジュネーブ 参加者:約250名(うち、日中韓が約4割。日本から35名) 寄書:104件(うち、7割が中国、韓国から。日本から5件) 主な結果: ・各WGのToRを策定 ・アウトプット文書:21件</p>
<p>第2回</p>	<p>日程:2006年10月16日(月)~20日(金) 場所:プサン(韓国) 参加者:208名(うち、日中韓が約6割。日本から30名) 寄書:153件(うち、7割が中国、韓国から。日本からは10件) 主な結果: ・「IPTV」の定義を策定 ・アウトプット文書:8件</p>
<p>第3回</p>	<p>日程:2007年1月22日(月)~26日(金) 場所:マウンテンビュー(米国) 参加者:194名(うち、日中韓が約4割。日本から34名) 寄書:169件(うち、半数が中国、韓国から。日本からは27件) 主な結果: ・QoSの定義を明確化 ・アウトプット文書:8件</p>
<p>第4回</p>	<p>日程:2007年5月7日(月)~11日(金) 場所:ブレッド(スロベニア) 参加者:165名(うち、日中韓が約6割。日本から30名) 寄書:153件(うち、半数が中国、韓国から。日本からは28件) 主な結果: ・今後のワークプランを策定 ・アウトプット文書:19件</p>

1. FG-IPTVの検討範囲



[ITU-T 060404コンサル会議資料(iptv033e: DVB) 修正]

2. FG-IPTVでの検討状況

WG	検討対象	検討状況
WG1	アーキテクチャと要求条件	用語の定義を含め整理中
WG2	QoSとパフォーマンス	QoSとQoEの関係を明確化
WG3	サービスセキュリティとコンテンツ保護	セキュリティに関する要求条件等を検討中
WG4	IPTVネットワーク制御	ネットワーク制御の観点からの要求条件を検討中
WG5	エンドシステムとインターオペラビリティ	エンド端末とホームネットワークとの連携等について検討中
WG6	ミドルウェア、AP、コンテンツプラットフォーム	メタデータ、コーデック等を検討中